

事故の型別にみた車両系荷役運搬機械等による主な死亡災害事例 (平成18年発生分)

■ フォークリフト

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	北海道	陸上貨物運送事業	1月	40～49歳	短辺1m長辺2m高さ2.7mの15段重ねにした金属製パレットをフォークリフトのフォークに載せ作業床とし、当該作業床に被災者を乗せ高さ約3mまで上げた状態で、長さ4.4mの木製棒を用いて高さ7.1mの倉庫の屋根の軒先の雪落とし作業を行っていたところ、落下した雪が被災者に当たり当該作業床から墜落した。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。
2	熊本	製造業	3月	60歳以上	中古船展示場において、看板取付け作業を3名で行い、その後看板の取付け状況を確認するためパレット上に被災者を乗せてフォークリフトで上げたところ、被災者がそのパレット上(高さ約3メートル)から墜落し死亡した。
3	神奈川	陸上貨物運送事業	3月	40～49歳	倉庫内において、フォークリフトを運転し、パレット積みした商品を出荷場へ運ぶ作業中、高さ94センチメートルのプラットホームからフォークリフトと共に地面へ転落し死亡した。
4	福岡	陸上貨物運送事業	4月	50～59歳	被災者は、倉庫内にて、パレットラックの2段目(高さ約2.8m)に保管していたプラスチックコンテナ(重量約15kg、パン原材料)を降ろすため、フォークリフト(1.5t)の爪に差込んだパレットを作業床として作業を行っていたところ1.3mの高さから転落し死亡した。なお、作業は同僚と2人で行っており、同僚はフォークリフトを1.3mの高さまで昇降させた後、エンジンを止めフォークリフトを降り、側で待機していた。
5	東京	商業	4月	60歳以上	出版社の倉庫内において、フォークと共に運転席が上昇・下降するフォークリフト(最大荷重450キログラム)を使用して、運転者及び被災者の2名が、倉庫内の棚から商品を取り出す作業を行っていたところ、商品と載せたフォークの先端に乗っていた被災者が約2.4メートル下の床に墜落し、搬送先の病院で死亡した。
6	福島	製造業	6月	60歳以上	コンクリートミキサー車のミキサー内に付着したコンクリートのはつり作業が終了したので、被災者は、ミキサー内に入り出すために持ち上げていたコンクリート投入ホッパーを降ろすため、ミキサー車のステージまたはフォークリフトのフォーク部にパレットを差込み足場として使用していたところから墜落し死亡した。ステージ及びパレットの高さは地表から2.6メートルあった。
7	青森	商業	10月	40～49歳	加工場内の冷蔵庫において、フォークリフトで上昇させたパレット上で作業を行っていた際に墜落し死亡した。

02. 転倒

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	群馬	陸上貨物運送事業	5月	30～39歳	被災者は、家畜飼料(1袋:500kg)の出荷のため、フォークリフトでトレーラーへの積み込み作業を行っていた(2本のツメに1袋づつ、計2袋・1トン)。その際、荷を吊った状態でツメを高さ約4mまで上げ、その状態でハンドルを左に切りながらバックしたところ、バランスを崩し転倒し、地面とフォークリフトの間に挟まれ死亡した。
2	栃木	鉱業	8月	20歳未満	被災者は、石加工工場内でフォークリフトの下敷きになっていたため、病院に搬送されたが、死亡した。
3	青森	その他の事業	9月	30～39歳	屋外において、フォークリフトを運転していたところ、当該フォークリフトが横転し、運転者がその下敷きとなり死亡した。

03. 激突

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	長野	陸上貨物運送事業	1月	40～49歳	配送を終え、最大荷重1.5tのフォークリフトを運転し、トラック荷台のパレットを倉庫(32m×41.5m)内に降ろし、倉庫内の所定駐車位置に前進で移動中、マスト部が建物柱に激突した。その弾みで、フォークリフトが横転し、被災者がヘッドガードの下敷きとなり死亡した。
2	東京	陸上貨物運送事業	2月	40～49歳	フォークリフト(リーチ形・最大荷重1.5t・立位運転)を使用し、トラックに積み込まれた荷(広告紙)を下ろし、倉庫に運搬する作業中、運転手である被災者が同フォークリフトを後進させたところ、同トラックの後部端に激突し、死亡した。
3	神奈川	陸上貨物運送事業	9月	50～59歳	夜勤終了時間(午前6時)が近づき、フォークリフトに充電を行うため、充電場所に向かう際、シャッターの操作をしようとしたところ、通常はリモコン操作で行っていたが、その時はリモコンを持っていなかったため、フォークリフトをバックさせながらフォークリフトから身を乗り出して、手でシャッターの操作をしようとして、壁とフォークリフトのヘッドガードの支柱にはさまれ死亡した。
4	神奈川	陸上貨物運送事業	9月	60歳以上	被災者は他社の倉庫内において、荷の積み込みのため、バッテリー式のフォークリフトを運転してバックしたところ倉庫の柱に激突した。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。

04. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	神奈川	製造業	3月	60歳以上	産業廃棄物処理業者が、他社より鉄くず回収を依頼され、依頼元の工場内で、産業廃棄物処理業者の労働者がフォークリフトにかごを載せ、鉄くずの回収作業を行っていたが、かごに鉄くずを入れ過ぎたため、フォークリフトの後部が上がり、かごがフォークから滑り落ち、近くにいた依頼元事業者の労働者がかごと作業台に挟まれ死亡した。
2	宮崎	建設業	5月	20～29歳	被災者らは、マンション新築工事現場で使った基礎工用鋼矢板40枚(1枚の長さ7メートル、重量420キログラム)を10枚、4組に分け、トラックに積み、自社内で荷卸しする作業に従事していた。同僚がフォークリフト(最大積載荷重8トン)で3組目の鋼矢板を卸そうとした時、フォークリフトのフォークの先端が4組目の鋼矢板の縁にかかり、4組目の鋼矢板がトラックの荷台より落下し、トラック側面にいた被災者が死亡した。
3	神奈川	陸上貨物運送事業	7月	50～59歳	輸出用の発電所に使われる配管(直径0.6m、長さ3m、重量1395kg)を梱包するため仮置きしてあったが、製造した工場に戻し不具合を直すため、梱包する会社の労働者がフォークリフトでトラックに1本目を積み込み、車体に載せたところ爪の上を転がって車体の外に落下した。転がった時にトラック運転手が抑えようとしたが、管が運転手の体の上を転がり、運転手は死亡した。
4	神奈川	港湾荷役業	11月	20～29歳	長さ8メートルの鉄筋(一束150本)9束(約20トン)を20トンフォークリフトを使用してコンテナに積み込む作業中、コンテナ床に置かれていた鉄筋の滑りを良くする為のベニヤ板が床に引掛かり、鉄筋が入らなくなった。被災者が、ベニヤ板を交換しようとしてコンテナ入り口に近づいた際、20トンフォークリフトで持ち上げていた鉄筋の束が崩れ、被災者が下敷きになり死亡した。

05. 崩壊・倒壊

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	新潟	建設業	9月	50～59歳	染色工場内に小型ボイラー(8基)を設置するため、野外通路に仮置きされていた小型ボイラーの搬入作業を4人で行っていた。午後4時過ぎ、5基目を搬入する際、被災者Aの指揮のもとフォークリフトとハンドリフトをボイラーの両端に差込み、持ち上げたところボイラーが傾き、ボイラーを支えようとした被災者A、Bがボイラーの下敷きになり死亡した。
2	新潟	建設業	9月	60歳以上	染色工場内に小型ボイラー(8基)を設置するため、野外通路に仮置きされていた小型ボイラーの搬入作業を4人で行っていた。午後4時過ぎ、5基目を搬入する際、被災者Aの指揮のもとフォークリフトとハンドリフトをボイラーの両端に差込み、持ち上げたところボイラーが傾き、ボイラーを支えようとした被災者A、Bがボイラーの下敷きになり死亡した。

06. 激突され

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	宮城	その他の事業	2月	30～39歳	出荷用の米を、翌日の出荷時に出荷しやすいように位置を替える作業をフォークリフトで行っていた被災者が、終業時間を過ぎても事務所に戻らないため同僚が様子を見に行ったところ、荷とフォークリフトに挟まっていた被災者を発見した。
2	鹿児島	港湾荷役業	4月	50～59歳	港内にて、荷役作業中、被災者が、自分の運転するフォークリフトから降りたところへ、他社のフォークリフトにひかれ死亡した。
3	福井	建設業	3月	30～39歳	構内において、屋根取付工事で使用するH形鋼(長さ15m、幅0.3m、高さ0.7、重量約4.2t)をフォークリフト2台で両端を吊り上げて後進しながら運搬していたところ、フォークリフトがバランスを崩して転倒した際に、被災者がフォークリフトのヘッドガードの下敷きになり死亡した。
4	茨城	商業	5月	30～39歳	塩化ビニル製パイプの収納ラックの整理を行っていたフォークリフトが、後退した際に被災者に激突し、後輪が被災者の体に乗りに上げたため、被災者は死亡した。
5	大阪	製造業	5月	50～59歳	伸線工場において被災者は製造ラインで午前中に通常の伸線工程を終了後、午後から試作品のテストを実施していた。テスト中に製造ライン西側のフォークリフトの通路へ飛び出したところ別のラインで出来上がった伸線を運搬中のフォークリフトに激突され、死亡した。
6	群馬	商業	6月	60歳以上	倉庫内で箱物の荷積み作業を行っていたところ、バックで走行してきたフォークリフトに激突され、フォークリフトと高さ約1.2メートルの鉄製の棚に挟まれ死亡した。
7	佐賀	製造業	7月	50～59歳	事業場の作業場を移動中の被災者が、隣接するグループ会社の労働者が運転する空の段ボールを積載し前進していたフォークリフトにはねられ死亡した。
8	千葉	商業	8月	60歳以上	物流センターのプラットホーム上を歩行していた被災者が、後進してきたフォークリフトにひかれ死亡した。
9	兵庫	商業	9月	60歳以上	被災者がフォークリフトを使用して13トントラックに空瓶等を積み込む作業を行っていた。当該作業が終了したので運転していたフォークリフトをトラックの左後方に止め、トラックの荷台(ウイング)を閉めるためにトラック後方にある押しボタンを操作していたところ、動き出したフォークリフトとトラックにはさまれ死亡した。
10	神奈川	陸上貨物運送事業	2月	50～59歳	事業場内において、被災者がトラックを送り出す合図をしているときに、付近で別の作業をしていた別の労働者が運転するフォークリフトが後退してきたため、被災者が轢かれた。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
11	千葉	港湾荷役業	9月	30～39歳	貨物船に線材コイルを船積みするため、フォークリフト1台を用いて船倉内で積みつける作業中、岸壁から移動式クレーンを用いて船倉内に搬入した1束約2tの線材コイル1束をフォークリフトで積み付けるために運搬していたところ、フォークリフトが切り返しのためバックをしたときにフォークリフトの後部が、壁際にいた積み付けの補助をしていた被災者に激突し、被災者は死亡した。
12	群馬	陸上貨物運送事業	11月	20～29歳	クレーンアーム付きフォークリフトにて、重さ約200kgの油圧ポンプを吊りながら搬送中、被災者は荷が揺れないよう歩いて支えていたところ、途中で誤って転倒した際、フォークリフトに激突され死亡した。
13	佐賀	陸上貨物運送事業	11月	50～59歳	冷凍冷蔵品宅配センターの建屋内の構内において、ステンレス製箱(縦1.1m×横1.1m×高さ1.8m)の荷を積載して前進運転で走行していたフォークリフトにはねられた。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。
14	長崎	その他の事業	9月	40～49歳	フォークリフト(最大荷重1.5t)を傾斜地に止め、近くで別の作業を行っていたところ、当該フォークリフトが無人の状態で突然動き出し、それを停止させようと近づいた時にフォークリフトが横転し、被災者がその下敷きになり死亡した。
15	愛知	製造業	12月	50～59歳	肉解凍用コンテナの洗浄作業後、荷役ヤードを歩行中にバック走行のフォークリフトと接触して転倒したため、コンクリート土場に強打し死亡した。
16	神奈川	製造業	12月	20～29歳	フォークリフト運転者はパレットを移動させる業務を、被災者は梱包物の伝票と製品を確認する採寸の作業を行っていた。フォークリフト運転者はパレットが3、4枚重ねられていたところから1枚をとり、方向転換したところ、倉庫から外へ歩いてきていた被災者の足を後輪で轢き、激突した拍子に被災者は仰向けに倒れ負傷した。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。

07. はさまれ、巻き込まれ

番号	局名	業種	発生日	年齢区分	災害の発生状況
1	千葉	建設業	2月	30～39歳	トラックから建築資材を搬出するため電動式のフォークリフト(最大荷重750キログラム)を使用後停車させたところ、サイドブレーキをかけていなかったため、傾斜を後進し始めた。被災者は別のトラックの誘導のためトラック側面にいたところフォークリフトが被災者にぶつかり被災者はトラックとフォークリフト後部に挟まれ死亡した。
2	福井	陸上貨物運送事業	3月	60歳以上	工場敷地内のコンテナスロープ前に停車した積載荷重20tのトレーラーのコンテナ内において、カウンターウエイト(重量1435kg×3台)を荷卸し中に別会社所属の労働者のフォークリフトの運転誤操作により、後進したフォークリフトと内壁の間ではさまれ死亡した。
3	滋賀	商業	3月	60歳以上	被災者は、1人でフォークリフト(最大荷重1750kg、自重3900kg)を操作し、トラック荷台に左側からパレット積みの荷物を積み込む作業を行っていた。荷物を荷台奥に降ろした後、フォークリフトを降りて荷物の設置状況を確認していたところ、フォークリフトが前進で動き出し、トラック運転席の左側面との間に挟まれ死亡した。
4	愛知	港湾荷役業	5月	60歳以上	貨物船から合板の荷降ろしを2つのハッチで行っていた。被災者は4人で本船の揚貨装置で岸壁に降ろされた合板の玉掛けを外す作業に従事していた。岸壁に降ろされた合板はフォークリフトで所定の位置に移動させるため、本船横の岸壁には6台のフォークリフトが運行しており、内1台がバック走行で旋回した際、所定の作業位置から約8m離れていた被災者がフォークリフト後部に轢かれ死亡した。
5	兵庫	製造業	5月	40～49歳	精米工場において、米の袋詰め及びロボットによるはい作り作業を一人残業して行っていた被災者が、フォークリフトでプラスチック製パレットを15段積んだ状態で、フォークリフトのマストとヘッドガードの間に体が挟まれ死亡した。
6	青森	商業	7月	50～59歳	冷凍庫内において運転者は、3段(高さ3m)に積まれた冷凍水産物入り段ボール箱のはいから荷卸しするため、フォークリフト(最大荷重1.5トン)を用いて作業を行っていたが、3段目のパレット(高さ2m)にフォークを差し込んだ状態でフォークリフトを停止し、運転席を離れてマストの後側に立ち入っていた時にレバーを押し下げたところ、マストとヘッドガードとの間にはさまれ死亡した。
7	千葉	陸上貨物運送事業	8月	50～59歳	空港内の貨物ビル付近のT字路で、被災者が歩行中にT字路を右折しようとしたところ、他社の労働者が運転するフォークリフトにひかれた。その後、被災者は搬送先の病院で死亡した。
8	愛知	製造業	8月	20～29歳	被害者は、倉庫内において、一人で製品の入った段ボール箱を取りに行っていたが、フォークリフトのマストとヘッドガードのフレームとの間に上半身をはさまれ死亡した。
9	福岡	陸上貨物運送事業	8月	50～59歳	構内の出荷場を歩いていたところ、後退してきたフォークリフトの左後輪に轢かれ、搬送先の病院で死亡した。
10	群馬	製造業	12月	30～39歳	フィルムロール(直径0.8m、長さ1.5m、重量約0.77t)を箱詰めするため、最大積載荷重1.6tのフォークリフトの片方の爪にフィルムロールを刺して、高さ1.57mの位置から荷を下降させたところ、フィルムロールが爪から抜け落ち、前方で荷の介助をしていた被災者が、フィルムロールと鋼製の移動ラック側面に挟まれた。その後被災者は、搬送先の病院で死亡した。
11	愛媛	港湾荷役業	12月	50～59歳	事務所を出て、自社構内保税倉庫前を歩行中、倉庫内の原料パルプ(縦1590×横1700×高さ1640、約4t)を屋外に運び出していたフォークリフト(最大荷重7t、サイドクランプ型)にひかれ、荷の下に挟まれ死亡した。

08. 交通事故(道路)

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	北海道	その他の事業	10月	20～29歳	被災者は時化で打ち上げられた流木・ゴミ等をフォークリフトにバケットを取り付けトラックの荷台に載せる作業終了後、ガソリンを満タンにするため、港から約500m離れた指定ガソリンスタンドで給油し、約300m町道を走行し、左カーブに差し掛かったところ道路から逸脱し、昆布干し場の砂利の上にフォークリフトが左に横転し、フォークリフトのヘッドガードに挟まれ死亡した。

■ ショベルローダー

04. 飛来・落下

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	群馬	製造業	1月	20～29歳	ショベルローダーで肥料の原材料が入ったフレコンバックを吊り下げホッパーへその原材料を投入する作業を行っていたところ、吊り下げていた同バックのロープが切れて被災者に落下し死亡した。

■ ストラドルキャリアー

07. はさまれ、巻き込まれ

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	山口	商業	10	20～29歳	ストラドルキャリアーに対し地上2.5メートルの位置の高さにある給油口から給油作業を行っていたところ、ストラドルキャリアーの運転手が、ストラドルキャリアーを後方に動かしたために、給油口近くのドライブシャフトが回転した。回転するドライブシャフトに被災者の作業服が巻き込まれ負傷した後、地面に墜落し死亡した。

■ 不整地運搬車

01. 墜落・転落

番号	局名	業種	発生月	年齢区分	災害の発生状況
1	福岡	建設業	1月	40～49歳	側溝整備等整地作業において、被災者は、長さ約11メートル、勾配23°～26°の斜面を、斜面下から斜面上へ不整地運搬車にて土砂運搬を行った後、不整地運搬車を運転しながら当該斜面を下りている時、不整地運搬車ごと前のめりに転倒し、不整地運搬車の下敷きになり、搬送先の病院で死亡した。